



BookMark

4～5月の展示は新入生応援がテーマ

「充実したキャンパスライフを送るぞー！」
「でも、どうすればいいんだろう・・・？」

そんな期待や不安を抱える皆さんへ、新生活のヒントになる本を紹介しします。知識の宝庫である図書館を活用して充実した大学生活をスタートさせてください。

展示期間中は図書館クイズを開催！ご参加お待ちしております！
スタートはカウンターから。図書館をまわって、図書館にまつわるクイズを解こう！正解者にはプレゼントがありますよ。



図書館で購入する本を選んでみよう！

「学生選書2017 Part1」開催（4月10～22日）

「学生選書」は図書館で購入する本を、学生が選べるイベントです。特設した数百冊の本棚から自由に選書できます。



自分好みの本を選ぶスペース

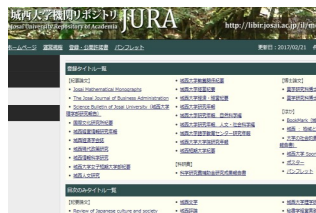
お友達と一緒に参加してもOK

参加希望者はカウンターへ

城西大学機関リポジトリJURAの登録数が5,000件に！

「JURA(ジュラ)」は城西大学の教育・研究成果を未来に残す“電子的な保存庫”です。2012年2月に運用を開始して以来、コンテンツの数は5,000件に達し、2016年度のダウンロード数は8,000件を超えました。

皆さんに教えてくれる先生の論文や、先輩の博士論文、そのほか学内で開催された公開講座の資料、この『BookMark』も蓄積・公開しています。ぜひご覧ください。



3月の図書館集報

- 3/1 平成28年度 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)総会に出席しました。
- 3/8 化学科・薬学部向けSciFinder利用講習会を開催し、合計117名が参加しました。
- 3/15 平成28年度 第4回図書館合同(運営・選書)委員会を開催しました。
- 3/15 平成28年度 JURA運営委員会を開催しました。
- 3/21 日本薬学図書館協議会(JPLA)の中堅職員研修会に参加しました。
- 3/22 平成28年度地域相互協力図書館合同研修会を開催しました。
- 3/23 坂戸市図書館協議会に出席しました。
- 3/26 オープンキャンパスで22名が図書館を見学しました。オープンキャンパス向けキーワードラリーへの参加は7名でした。
- 3/27 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)平成28年度第3回幹事会に出席しました。
- 3/27 ジャパンリンクセンター(JaLC)メンバーミーティングに参加しました。

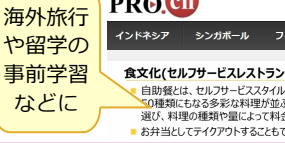
2017年4月							2017年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

□=9:00~21:00 ■=9:00~19:00 ●=9:00~17:00 ▲=休館
※5/6は授業休講日のため、17時で閉館します。

新規導入データベース紹介

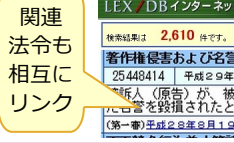
PRO.ch

アジア6ヶ国の雇用や会社運営、生活などを、日本語で学べるオンラインビデオ。



TKCローライブラリー

判例27万件以上を簡単に検索できるデータベースが使えます。



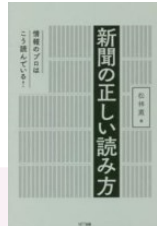
雑誌の目次が探しやすいになりました

OPACで読みたい雑誌を探して、検索結果詳細画面の「目次」を押すだけで、対象巻号の記事を確認できるようになりました。



図書館員のおすすめ図書1冊

『新聞の正しい読み方：情報のプロはこう読んでいる!』松林薫著。NTT出版。2016.3 (3階開架、070//Ma73)



皆さん、新聞記事の見出しの大きさに“意味”があるのを知っていましたか？
また文章の言い回しから、記者がどうやってその記事を得たかも分かると聞いたら、ちょっと新聞を読みたくなくなってきませんか？

この本では、元新聞記者の著者が、そうした記事の裏側をていねいに解説しています。「新聞を読みたくても量が多くて…」という人に、時短で新聞を読めるコツも紹介。また「ニュースなんてネットで十分」と思っている人も、新聞ならではの奥深さを知ることができるはず。

ちなみにこの本。図書館員が選書し、昨年11月のライブラリーラウンジ《ひとりじゃない読書への誘い：ゆるくほんでおしゃべり、しませんか2》でも紹介して、参加者から、とても好評を得た1冊です。

図書館では新聞各紙を購読しています。あなたも春から新聞を読み始めてみましょう♪ (図書館・的場)

発行：城西大学水田記念図書館
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL：049-271-7736
FAX：049-286-8126
mail：library1@josai.ac.jp
URL：http://libopac.josai.ac.jp/
TwitterID @lib_josai
図書館ツイッターのQRコードはこちら→



空間としての大学図書館

水田記念図書館長 関 俊暢

図書館に関わる職務に就いていると、近隣の公立図書館での会議に参加することや、それらの施設を視察することなど、公立図書館の現状に触れる機会があります。IT社会、オンラインゲーム、SNSなどのワードと関連して、そして地域コミュニティーのつながりの脆弱化なども併せて、地域図書館が担ってきた市民に対する情報と学習機会の提供という機能に加えて、人々が集い交流する場としての機能も図書館に求められてきているようです。その場合必要となるのがゾーニングです。従来のように静かに資料の調査を行ないたい人と資料を介して他者と交流したい人がストレスなく図書館を利用できるように構造、配置に工夫が求められています。大学の図書館は、公立図書館と目的や機能が異なりますので、全く事情が同じというわけではありませんが、やはりゾーニングは必要です。求められる空間としての大学図書館について、思うところを述べてみようと思います。

アカデミアのための空間としての図書館

はじめて大学図書館を訪れた新入生やオープンキャンパスで見学に来た高校生は、大学の図書館と高校の図書室の違いに驚くものと思います。洋書を含めた専門書中心の多数の図書が並ぶ書架、その間を歩くだけで、大学というところは何をやる所か感じることができるはず。先人が集積してきた知のその向こう側に行くことが、学問をすることだと理解していただければと思います。世界遺産であるサンクトガレン修道院図書館やバチカン図書館のように、知の蓄積の重さというものを感ずることができる空間としての図書館は、求められるもののように思われます。

リラックスできる空間としての図書館

静かな場所で、ゆっくりとくつろぎながら読書をする。そのような空間を提供することも図書館の使命です。水田記念図書館9F閲覧室は、城西大学で最も居心地のよい場所のひとつであると自負しております。落ち着いた空間で、学生の自修もすすむばと思います。コーヒーぐらい提供できればとも思うのですが、現状では困難で、今後の課題でしょうか。

アクティブラーニングを行なう空間としての図書館

多数の書籍、情報端末、リファレンスを提供する図書館員と、多様なリソースが利用できる空間として、図書館はアクティブラーニングを行なう場所として最適です。それを行なうラーニングコモンズは、大学図書館にとって必須の施設であると今日考えられています。資料を中心に学生たちが学び合うという学修方法は、これからの教育方法の主流になりつつあります。図書館としては、ゾーニングが特に重要ですが、図書館員のレベルアップも必要であると理解しています。

空間にとらわれない機能としての図書館

今日、学術雑誌が電子化され、図書館に訪れることなく、学内の研究室で、そして教員の皆様はリモートアクセスで自宅にいても、それらの情報にアクセスして、ファイルをダウンロードできるようになっています。図書館では、それらの情報を皆様に提供するだけでなく、機関リポジトリJURAの運営に携わることで、城西大学の教育・研究活動の成果を広く世界に発信してもいます。今日求められる図書館のこれらの機能は、空間として無限の広がりを持っているとも言えます。

ここで述べた機能・空間は、大学の図書館にとって等しく重要であると理解しています。水田記念図書館が、皆様にとってよい空間であり続けるよう努めていきたいと思っています。

新入生の皆さんへ

●図書館ってどんなところ？行ってみよう！

広々スペース



学習に最適

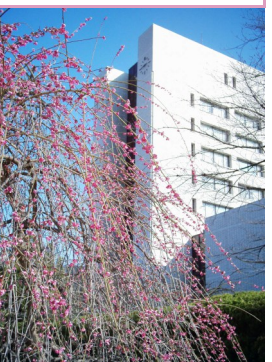


豊富な資料

「学生選書」開催

(4月10～22日)

●図書館の本を自分で選べるチャンスです！



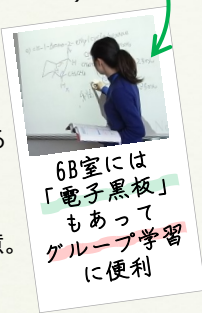
図書館へ行ってみよう!

図書館ってどんなところ?

施設・設備 (1~6, 9Fが図書館)

目的に合わせて使い分けられるフロア構成

- **静かに資料の閲覧・学習するなら**
各フロアに合計800席以上の閲覧席があります。
- **友人同士で勉強するなら**
4階では学習のための会話ができます。互いに教えあって勉強できます。
- **ゼミ、サークル、グループで利用・勉強するなら**
3階に1室、6階に5室「グループ学習室」があります。3階と6D室は予約制です(5名から)。
- **一人で集中するなら**
3階に個人閲覧室が2室あります。
- **レポートを作成するなら**
設置PCのほか、館内で利用できるノートPCとiPadも貸出。
- **AV資料を視聴するなら**
DVDなどを観る専用ブースを用意。学習用の資料はもちろん、映画の名作もあります♪



6B室には「電子黒板」もあってグループ学習に便利

蔵書や学術論文を探せる便利なツール(データベース)も完備&利用講習会も開催

開館時間

平日 9:00~21:00
 ※試験期間中……8:30~21:00
 ※夏期休業期間……9:00~19:00
 土曜 9:00~19:00 日曜 9:00~17:00

学生証で借りることができます

貸出期間

	図書	雑誌	AV資料
1~3年生	2週間		
卒業年次生	90日間	1週間	2週間
大学院生			
薬学部早期研究室 配属生&4~6年			

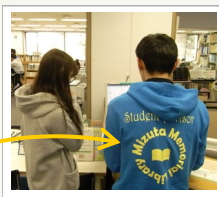
※一部貸出できない資料もあります。

調べ物や学習の相談をするには?

司書にきいてみよう

図書館員は全員「司書資格」を持っています。資料探しに悩んだら、図書館員に相談してください。「探している本が見つからない」「どんな本を読めばいいのかわからない」など、調べ方の「困った」を、カウンターでサポートします。

目印はロゴ入りパーカー



相談やPCの使い方、大学での学習でわからないことがあれば、気軽に相談を。

学生アドバイザーもいます

現役の先輩に気軽に質問できますよ!

教員の推薦を受けた学生・大学院生が「学生アドバイザー」として、カウンター横に常駐。これまでの大学生活で得た知識と経験を基に、頼れる先輩として皆さんをサポートします。レポート作成のサポートも受け付けています。



イベントも盛りだくさん♪

知的書評合戦ビブリオバトル

5分間で自分のおすすめの本を紹介しあう書評ゲーム

観客が一番読みたくなった本に投票して、「チャンプ本」を決めるビブリオバトル。図書館では毎年、全国大会の予選を行い、白熱の戦いが繰り広げられています。さらに高麗祭では、学生アドバイザー主催で、学内チャンプを決める特別戦も開催。ステージは多くの観客で盛り上がりします。

出場してみたい人は気軽にカウンターへ

去年は学内予選会に20名が出場。その後、関東地区決勝戦も勝ち抜いた薬学科学部「全国大学ビブリオバトル2016~京都決勝」に出場★

高麗祭には、毎年一般の方も観客が集まって、熱戦に投票☆

ライブラリーラウンジ

学部や学年を超えた交流が広がる場

読書を通じた新たな交流が生まれたり



毎年数回、色々な企画で行っています。



世界で活躍する城西生のお話を聴けたり

佐藤才五郎(経管) 藤本太郎(学太) 日本代表(卒業生)

学生生活に役立つ講演会

皆さんに身近で、社会に出てに必要な知識

● 著作権講演会

著作権は大学のレポート作成や、身近なインターネット(SNS)利用などに関係するルールです。皆さん、他人の文章や画像をそのまま使用したことはありませんか? それは著作権法違反です。こうした著作権の基本から丁寧に説明する講演会を、図書館主催で開催しています。

ほかにも、読書がもっと楽しくなる、普段は聞けない専門家の話を聞ける講演会を企画しています。

本を読みたいけれど、何から読めばいい?

…そんな風に迷ったら

教員おすすめ図書、展示コーナー

● 教員おすすめ図書

教員が「学生に読んでほしい本」として推薦した図書をおすすめコメントとともに紹介。読書を通して、教員との交流を楽しんでみませんか。

● 月別展示、ミニ展示コーナー

様々な視点で資料を紹介する月別展示。時事に沿ったテーマのミニ展示や、季節によって福袋展示もやっています。

何の本が入っているかわかりやすいお楽しみ

教員おすすめ図書を紹介します。小冊子を配布中。ホームページにも掲載しています



推薦文をPOPで紹介

「われ思うゆえに思考実験あり」 橋元淳一郎 早川書房
 アインシュタインの相対性理論の入門本を読んだことがある方なら、光速に限りなく近い速度で走行する列車に乗って、様々な実験を試みる記述は、馴染みのものと思います。思考実験は、無限的な状況を想定し、自身が持つ科学の原理を頼りに結果を予測する、科学的思考に関するトレーニングです。何れにしても、思考実験はただです。皆さんも思考実験で科学者としてステップアップを!!

図書館長 関 俊暢 先生
 薬学部薬学科

最新情報はこちらでチェック!

図書館公式ホームページ

● <http://libopac.josai.ac.jp/>

図書館公式Twitter

● @lib_josai (図書館)

● @lib_advis (学生アドバイザー)

問い合わせ先

● Tel : 049-271-7736 ● メール : library1@josai.ac.jp

本があるだけじゃない
 大学図書館を活用しよう